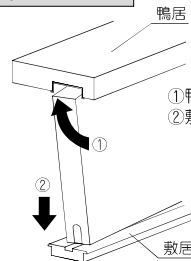


## 扉の吊り込み



- 鴨居レールの溝に扉の上端をはめ込む
- 敷居のレールに戸車をはめ込む

※戸車がレールに入っていることを確認し、引き戸がスムーズに動かか動作確認してください。

### 注意

扉が鴨居レールの溝と敷居のレールにはまっていないと扉開閉時に扉の転倒によりけがをすることがあります。

## 扉の建て付け調整

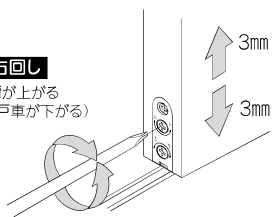
### 注意

下記調整は規定の調整範囲を越えて調整しないでください。調整は必ず手回しドライバーで行ってください。部品破損の原因となります。

### ●上下調整

#### 右回し

扉が上がる  
(戸車が下がる)



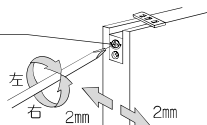
#### 左回し

扉が下がる (戸車が上がる)

### ●左右調整

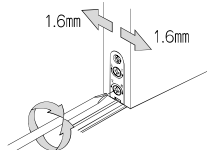
#### 戸首の場合

ドライバーで回すと左右に動きます。



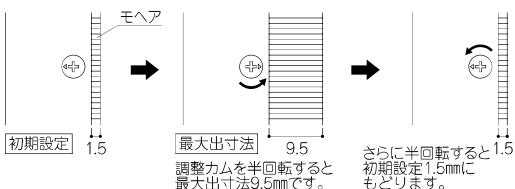
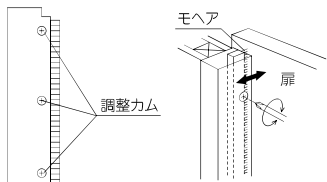
#### 戸車の場合

ドライバーで回すと左右に動きます。※左右に調整するときは、扉を少し持ち上げた状態で行うとスムーズに調整できます。



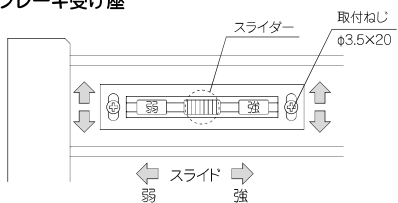
## 半方立モヘアの調整方法

プラスの手回しドライバーを使用して、調整カム3ヶ所 (もしくは4ヶ所) を回転させて調整します。



## ブレーキ受け座・ストライカの調整

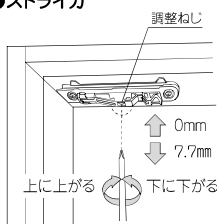
### ●ブレーキ受け座



扉とブレーキ受け座が干渉する場合は取付ねじをゆるめ、前後に調整してください。

ブレーキの強弱はスライダーをスライドさせることで調整が可能です。

### ●ストライカ



ストライカの調整ねじをプラスの手回しドライバーで回し、ストライカを調整してください。

クローザーが作動しない場合  
ストライカを下に下げてください。

ストライカと扉が干渉する場合  
ストライカを上上げてください。

ストライカを下げることで、扉のはね上がりを抑制できます。

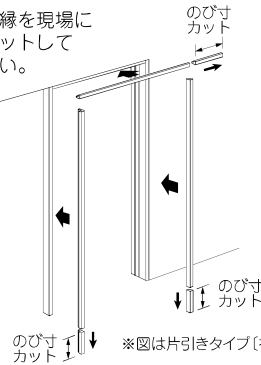
扉とストライカが干渉しない程度にストライカを下げてください。

### 注意

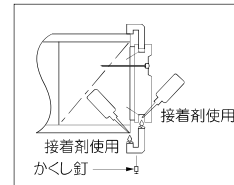
扉のはね上がり大きいと脱輪の原因になります。

## ケーシング額縁の取付

ケーシング額縁を現場に合わせて、カットして納めてください。



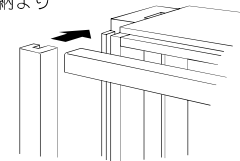
ケーシングは別売



■ケーシング額縁の固定方法  
●酢ビ系接着剤 (現場手配) で、ケーシング額縁を外枠に取り付けてください。

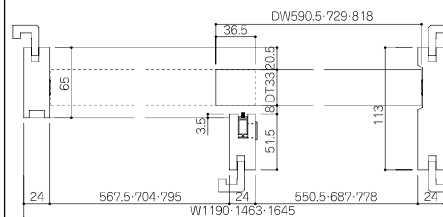
※安定しない場合は、かくし釘 (現場手配) で固定してください。

### ■タテ勝ち納まり

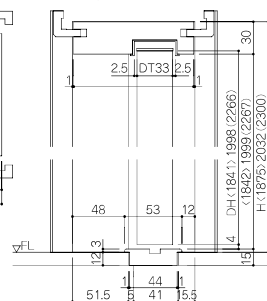


## 納まり図

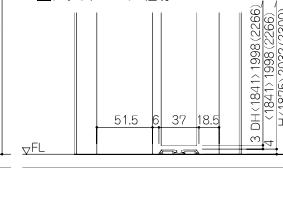
### ●片引き



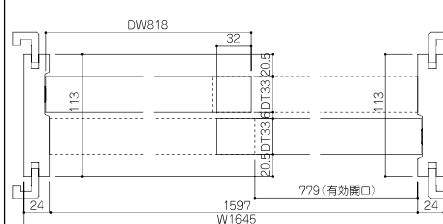
### ■埋込敷居仕様



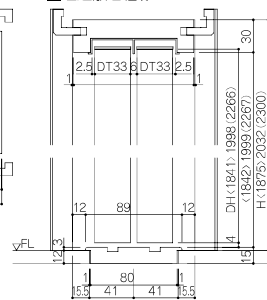
### ■フラットレール仕様



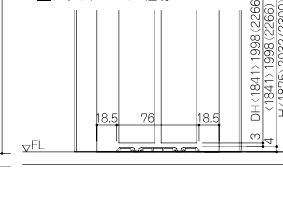
### ●引き違い



### ■埋込敷居仕様



### ■フラットレール仕様



## 取扱説明書 (お施主様保管用)

※お施主様に必ずお渡しください。

このたびは「内装引き戸」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

■ご使用前にこの説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。

■お読みになったあとは、大切に保管してください。

### 安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取扱いについて次のように警告表示をしています。誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

表示方法	内 容		
△ 注意	この表示を無視して誤った取扱いを行なうと、使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。	⊘	「してはいけない」を示します。
		⊕	「必ず行っていただくこと」を示します。

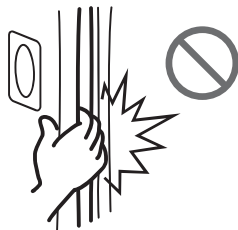
(※1) 傷害とは、治療入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。

(※2) 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさす。

### △ 注意

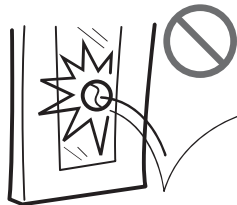
- 扉の開閉にあたっては、必ず引手に手をかけて操作してください。

扉の先端に手をかけると、扉と扉もしくは、扉と枠の間に手をはさみ、けがをすることがあります。特にお子様にはご注意ください。



- ガラスに強い衝撃を与えたり物をぶつけたりしないでください。

ガラスが割れるおそれがあります。特にお子様には十分ご注意ください。



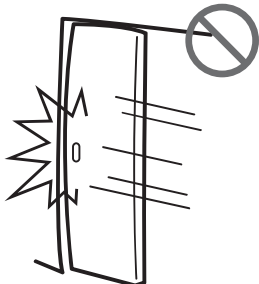
- 扉にぶつかったり、もたれたりしないでください。

扉が破損したり、脱落して、けがをすることがあります。



- 扉の開閉は、静かに行ってください。

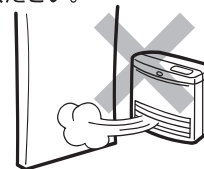
乱暴に扱おうと扉が破損したり、脱落して、けがをすることがあります。



### ご使用上のお願い

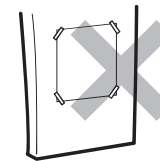
- 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにしてください。

扉にそりや、変形、変色が発生して故障の原因となります。



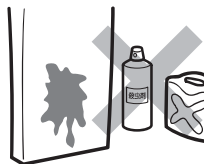
- 扉に粘着テープや両面テープでポスターなどを貼らないでください。

テープをはがす時に、表面が傷ついたり、シートはがれが発生するおそれがあります。



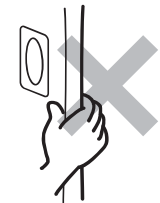
- 本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。

表面がふくれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。



- 扉の開閉は引手に手をかけて行ってください。

扉に手をかけて、開閉を繰り返しますと、シートはがれ、汚れ、変色の原因となります。



- 木材建具の反りについて

木質を原料とする木質材料(合板、パーティクルボード、MDFなど)を加工して作られた木質建具は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、木質建具の周辺の温度や湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に木製建具の室内面と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

- 『反り』の発生の抑えかた

ご使用の環境や設置場所によって『反り』の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

1. エアコン、暖房などをご使用の際は、木製建具に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
2. 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房などにより、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
3. 木製建具に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれなどを設けて日光を遮ってください。

発生した『反り』は室内側と室外側の環境条件を近づけることによって、小さくなる場合があります。

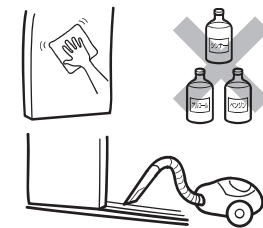
### クローザー機構の商品特性上特にご注意いただく事項

- 本商品は、扉を閉めた時に発生する衝撃音や扉の跳ね返りを抑えるものであり、けがの防止を保証するものではありません。
- 季節や環境条件でご使用中に閉じる速度が変化することがあります。
- 扉の開閉は静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落して、けがをすることがあります。
- 油圧ブレーキの作動油を抜いたり、注入したりしないでください。故障の原因となります。
- クローザー部品に潤滑油や洗剤などの薬品をかけないでください。故障の原因となります。

### お手入れのしかた

- 日頃のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、かたく絞ってから拭いてください。その後、乾いた布で拭き取ります。
- ※シンナー、ベンジン、アルコール、ワックス、化学雑巾は使用しないでください。変色、変質するおそれがあります。



- ごみがたまらないよう、敷居レールの溝はこまめにお掃除してください。敷居レールの溝にごみがたまりますと扉の滑らかな走行の妨げとなり、故障の原因となります。

### 住友林業クレスト株式会社

名古屋市中区錦3丁目10-33 錦SISビル3F 〒460-8428  
お客様相談室 TEL <052> 205-8405 FAX <052> 205-8400